



一人口の動き	
11月末現在	
( )は10月末との比較	
出生 7人	死亡 5人
転入 11人	転出 12人
世帯数 1,285世帯(+1)	
男 2,872人(+5)	
女 2,946人(-4)	
合計 5,818人(+1)	

喜春



大切な母

北辰中学校二年 柄沢春明

「決めて一人では楽しめないだろう。」

「ただいま」

「私は、この世に家族にたよれず生きて行ける人なんていないだろうな」

「家族というものの果たす役わりは大きいな」

「まだおきてたの。早く寝なさいね。」

母は、いつもいそがしいのです。今日もやっとせんたくを終えたばかり。それから僕達家族のために夕飯を作るのです。母はまだ四十歳にはなっていないが、とても疲れた。と風呂のあとにはやっています。こんな気持ちもわからんではあります。母の指と指の間は、休日の

つらい畑仕事やこれからいっそきびしくなる台所での水仕事のため、皮がむけ、それはもう、見るにしのびない程ひどいあとになって、今なお母を苦しめているのです。今まで何度か母の苦しそうな姿を見てきたので頭にその光景がありありと思ひ出されます。こんなにも

でして働いている母に対して、僕には甘えがあると常日頃思っています。心で思っても形として行動としてあらわれずいついかなんでも母にまかせっきりになっていきます。母に対して何かしてやるどころか、母の日にはプレゼントもせず、母の日はプレゼントもせず、母の日です。その日が母の日

に、何よりも、母が死ぬ前に、祖父に、僕達のことをよろしくたのむと言っていたので、当然だったかもしれない。別に、父方の親類の人が、よく看病してくれなかつたとか、そう言いたいわけでは

ついで、述べたいと思います。まず妹は、ちよつとわがままだと思います。女のくせに、仕事はあまりやらないし、家の人の言うことは聞かないし、これからは、僕からも、言つてやらなければなりません。

親類に世話になつて……

北辰中学校三年 清水義徳

僕は、妹と、祖父と、伯母と、従兄と、伯父の六人で生活しています。

父は六年前、僕が小学三年の時に、亡くなりました。母も三年前、僕が小学六年の時に亡くなりました。母が亡くなった時、父方の親類に行くか、母方の親類に行くか、

決断を迫られました。最初は父方の親類に行つてもよいと考えていたのですが、だんだん考えが変わり、母方の親類に行くことになりました。その時は、父方の親類の人が、

母方の親類に行くのが適当だったと思ひます。それは、母の方が後に亡くなつたし、母が病気になる時も、よく看病してくれました。僕の家の炊事などもやってくれたからです。母が病氣なので、あたりまえかもしれませんが、それ

最後に、僕の家族は、小さな問題はたくさんありますが、大きな問題もなく、平和な家庭なので、この平和を保ち、よりいっそうよくするために、家族みんなが努力していかなければならないと思ひています。

# 塩之入トンネル開通！

## 祝 開通式挙行



祝塩之入トンネル改修工事竣工



昭和九年に開通した塩之入トンネルが、老朽化し、幅員、高さとも狭小のため、また、近年における車両の大型化と交通量の増加に対し、昭和五十二年に関係各位の御尽力により改良工事に着手、この度、トンネル部分が完成し、十二月十六日に開通式が挙行されました。

開通式には、五十嵐県議会議員、県土木部長をはじめ、与板町、中之島村長、議会議事関係者等来賓多数が出席されました。

**概要**

改良延長 九八〇m  
 (トンネル延長二〇八・五m)  
 幅員 車道 八・五m  
 (車道三・〇m×2)  
 (歩道〇・七五m×2)  
 事業費 四億一千五百万円

# ふれあいの村づくり



和島村長 清野 精合

にありましたが、村はお陰様でお約束申し上げた計画事業は予定通り実施することが出来ました。

中学校舎の建設、生活関連道路の改良舗装、新農構事業の一環たる連絡農道の完成等であり、

村民各位の御理解と御協力の賜物と感謝申し上げます。

村内の皆様明けましておめでとうございます。

今年も皆様がそろってお健やかに新年をお迎えになったことと存じ、謹んでお慶び申し上げます。

除夜の鐘を聞き終って若水を汲む時の清々しさと「今年こそは」と思う引締った気持はどなたも同じことだろうと思いますが、とりわけ今年強くそのように感ずることになりました。

御承知のように昨年は、国の内外を通じて激動たならない様相を呈しました。政治・経済・外交とさまざまな要請が相つぎ、国内に於いても行革推進の大方針が打出されました。

このようなきびしい背景と環境

然し反面心を煩わしたことも再三ありまして、特に申せば、農業事情であります。第二期水田利用再編対策としての転作田は、一三二haにも大幅に延びたうえに数年来の不作に見舞われ、対前年八〇%、九〇%の減収という農家経済に追打ちをかける一大損失となりました。

農家の方々の御心労をお察し申し上げます。

私が昨年の年頭のごあいさつに申し上げました村出身在京の方々との交流もめでたく芽が出てまいり「首都圏ふるさとわしませ会」として一五〇人という多勢の参加者の下に発足いたしました。会終了

後、連絡のとれた方々の御様子から次会以降更に盛会になるものと思われませんが、長続きする組織といたしたいと思っております。

また、村民総ぐるみで青少年問題に対処すべく「村民会議」も発足致しました。僅かなグループではあります。「兄ちゃんに集う会」のような清新な若者の団体も出ましたが大きな輪になることを期待するものであります。

さて本年は前段申しあげましたように国の行革推進という荒波の中に地方自治体もまわれるわけでありまして、その行財政運営には容易ならぬ覚悟を必要と致します。村といたしましても、当然これに対応した措置をとると同時に、自らの事務事業の見直しを強力に押し進め、それによって生み出した経費は積極財政運用資金に投入する考えであります。これが執行に当る者の心の切り換えが先決であることは申すまでもありませんが村民各位の御理解と御協力を願ひする所以であります。

昭和五十七年度予算の基本は、中学校体育館と生活関連道路の改良舗装の完工であります。体育館

は第二学期中には完成させたいものと思っております。道路事業は、昭和五十六年末で当初計画(昭和五十五年度)の概ね八〇%が完成致しました。本年は計画第三年度であり、当初計画通り完了をめざして仕事を進めてまいります。その他前年からの継続事業水田利用再編対策事業推進に力を尽したいと思ひます。昨年末から始めた農地利用増進事業の運用をはかり農地の高度利用を進めることにより農業の体質を改善し、転作事業推進にも効果をあげたいものと考えています。昨年西欧を視察する機会に恵まれ、この事業推進の必要性を特に感じてまいりました。

村の人口増をはかる前に先ず減ることを防ぐことが大切であります。住宅から通勤されている村内の二、三男の方々の定着をはかるために宅地造成を実施したいと考えております。

また、今年度は余暇を楽しみ、村民ふれあいの場を持つということとで村まつりを計画することになりました。関係団体と力を合せ実現に努力を致します。

越後線の電化工事着手、上越新幹線の十一月事業開始、北陸関越自動車道の路線延長と中之島インターに直結する塩之入隧道も昨年完成いたしました。

これ等に対応した村自体の作業もゆるがせに出来ない訳ですが、

今年には村の新総合開発計画を樹立することにしております。昭和六十六年度迄の十年先に焦点を合わせ、基本構想、計画を立てるわけでありましたが昨年実施した村民アンケートの意向を尊重し、村政懇談等、その他日常村民各位から寄せられた御意見、御提言を参考としながら目下作業中であります。

将来の和島村の在り方を構想し、近隣町村との調整をとりつつ特色ある和島村づくりの基本にしたいと考えております。

物から心を充足する年と考え、村民それぞれのふれあいを大切に、連帯と信頼の中で一人一人にボランティア精神が芽生え、道路に雑草なく、空缶一つ・ちり紙一枚落ちていない美しい農村を構築しようではありませんか。そこにまた活力ある若々しい和島村が浮び上ってくることを確信いたします。

どうぞ御健康に留意され、自らの生活基盤を大切にされると同時に積極的に村づくりに参加されることをお願いして年頭のごあいさつといたします。

## 村長室の黒板から

和島村長

清生 粘糸

十一月十七日 北陸地区治水大会のため新潟市へ。

十八日・十九日 幼稚園保育所を一元化した幼児教育先進地の秋田県飯田川町を訪問し町長さんから親しく基本理念を拝聴し共感を覚え施設を見学し帰村、本村幼児教育の指針としたと思つた。

二十日 村の教育研究会において西欧農村振興事情視察についてお話しをする。

二十一日 予算編成会議で基本的な考え方を指示。

二十二日 農改普及所主催の訪中訪欧報告会に出席し報告する。

二十五・二十八日 村内五地区に分けて夜七時から村政懇談会。

二十七日 島田小学校隣接地の土地所得について議会全員協議会。

二十九・三十日 首都圏ふるさとわしませ会発会式に参列。百五十人を超す参会者で賑つた。長く続けて交流を深めたいと思

う、発起人の御苦勞に深謝致します。

十二月六日 青少年問題対策のための実行運動機関として村民会議結成を呼びかけ開催、行政の力を超えた村ぐるみの対応でないと思ふ効が出ないことで村民全員の参加を願ひたい、当日参会者百有余人。

九日 国保県連合会理事會、行革国会で論議の医療費の地方自治体肩代りの件で発言し、県連合会としても他県をリードして国に善処方を要望することで意見一致。

十日 本年最後の区長会を招集だんだん増えてくる行政事務の先端を担って頂く区長さんの御苦勞に感謝する。

十一日 本日から塩之入隧道が開通した。過去三カ年の長きに亘つて村民に御迷惑をおかけしたが大変立派に出来ました。土木事務所へお礼言上の途次下車して昭和初年の先輩各位の御苦勞を偲ぶ。

予算編成会議

十二日 九月中旬から病床に在られた神子議員が逝去され葬儀に列席し弔辞を呈上。

十四日 県内農業改良普及事業協会長會議出席、知事さんに普及事業推進の重要性を提示し規模縮小なきよう陳情。

十五日 総合開発幹事會に出席し昭和六十六年に焦点を合せた積極的施政展開のための構想要望。

十六日 塩之入隧道開通祝賀記念式典を与板、中之島両町村と合同で開催、現地及び福祉センター。

## 雑感

慌しく終えた一年のようであるが、村民各位の協力によってまあまあ年でもあったように思ふ。物が潤沢になって心のつながりが忘れられてこないような施策が大切だと思う一年でもあった。特に西欧視察で得たあの連帯と信頼の中で美しい村づくりをすすめている西欧の農村を見てその感を深くした、村民各位の御健康を祈り年末のごあいさつと致します。

# 農地の有効利用と



第二の柱は「農用地利用改善事業」というものです。この事業は簡単にいえば集落、大字等の段階で農用地をみんなで有効に活用する方策を考える場合、転作なども集団的に行ない、農作業も機械、施設の共同利用など効率的に実施し、そのために交換耕作や集団化のための農地の貸し借りや交換などを進めようというような相談をして、これらの準則を申し合わせ、これに即して地域の農用地の有効利用を進め地域の農業生産体制の刷新、強化を図るといふ事業です。また、この結果、農用地等の貸借、交換などの話しがまとまれば、先の利用増進計画にのせて、むしろ新しい手続きなしに安心して農地の貸し借りができます。これも先の実施方針に基づいて進められるのですが、これを進めようという地区（部落や大字の規模）単位で、農業者同志の団体がその実施主体となります。この団体はその地区の農用地について権利を持つ農業者の三分の二以上が必要です。農業者が自主的に農地の有効利用を進めようというものですから、あまり束縛するようなものではなく、現に集落などの段階で広汎に組織されている任意団体である農事実行組合が、これに該当します。な

## 農用地利用改善事業

お、この団体は、代表者の定め、意思決定の方法や加入、脱退の自由など一定の基準に従った規約か定款をつくる必要があります。これ以外に特別の設立手続は要しません。

また、この団体には農協法にある農事組合法人も含まれます。この要件に該当する団体は、農用地を有効利用するための関係農家の申し合わせである「農用地利用規程」をつくり、村は実施方針に照らして「よい」ということになれば、その認定を行います。こ

## 農作業受委託促進事業

第三の柱は農作業の受委託促進事業その他農用地の農業上の利用の増進を図るための事業です。農協等が行っている農作業の受委託

## 「農地法も大きく4点が変わりました。」

一、小作料の物納が認められました。

二、農地を持たない後継者だけでも農業生産法人をつくれます。

三、後継者への農地の転貸の特例が認められることになりました。

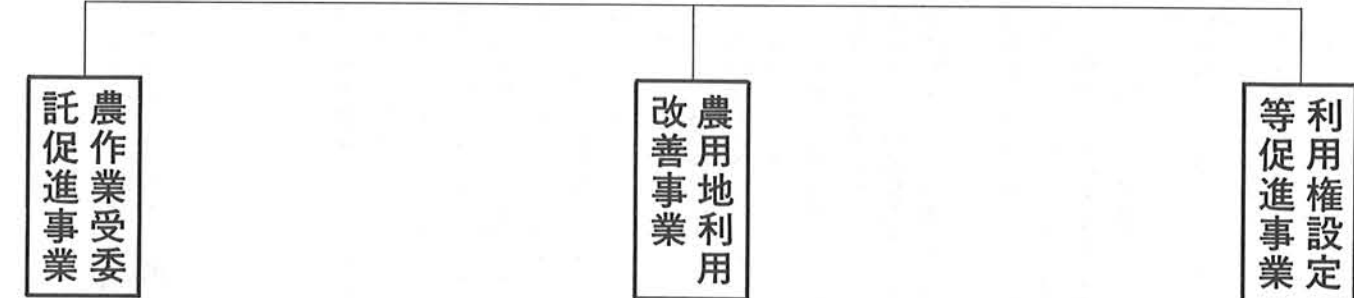
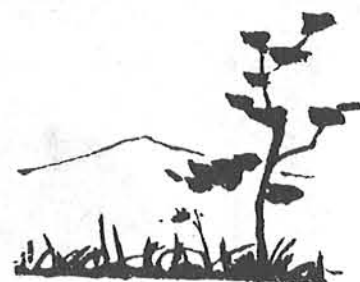
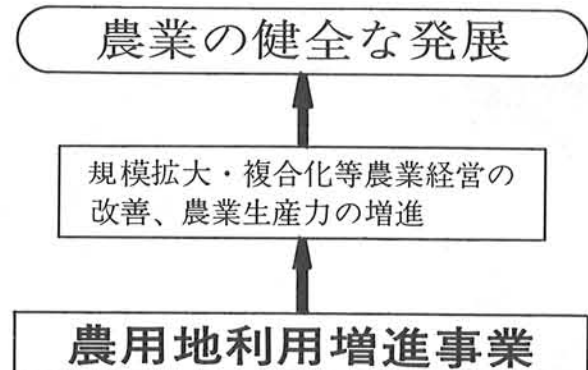
四、許可権限等が農業委員会に委譲されました。

農用地利用増進事業を希望する方（貸し手・売り手・借し手・買い手各農家）やこの事業について詳細を知りたい方は、役場産業振興課、農業委員会、農地流動化推進員へお尋ね下さい。

それぞれの持場で生かせ火の用心

# 流動化を目指して...

## 農用地利用増進法



## 法律の目的

農用地の有効利用、担い手の育成と規模拡大、水田転作等の問題を抱えている村の中で農地をどう活用し、村の農業振興をどのように進めていくか地域にとっても農家にとっても緊急の課題です。農用地利用増進法は昭和五十五年成立し、地域の実情に応じた農用地の有効利用を促進するため、従来の各種施策を集約し新しい農用地利用増進事業として仕組み整備したものです。

「この法律は農用地について耕作者のために利用権の設定等を促進する事業その他農用地の農業上の利用の増進を図るための事業を総合的に行うことにより、農業経営の改善と農業生産力の増進を図り、もって農業の健全な発展に寄与することを目的とする。」そのため何をやるかということですが、内容は三本の柱になっています。

## 三本柱の事業内容

### 利用権設定等促進事業

第一は「利用権設定等促進事業」というものです。この事業を実施する市町村は三本の柱を含む全体の方針に基づいて、村や農業委員会が農用地等の貸し手・借り手を掘り起こし、関係権利者全員の同意を得、かつ農業委員会の決定を経て、関係者の農用地等の貸借、売買等を明らかにした農用地利用増進計画を作成し、これを公告すれば権利の設定、移転の効果が生ずるといふものです。この場合、農地法の三条の許可、六条の小作地の保有制限、十九条の賃貸借の法定更新の適用を除外することと

されています。いかえれば、この利用増進計画によって農地を貸し借りした場合は、農地法の許可手続がいらないし、相互に定められた期間になれば貸し手の元に必ずいったん農地は返されるし、借り手は大きな面積を借りることができ、その更新が期待されるというものです。このなかで農地を売買したいという農家があれば利用増進計画にのせれば農地法三条の手続きがいらないということになっていますし、また村の嘱託登記の途が開かれています。

笑顔の家庭によい子が育つ

# 和島村青少年育成村民会議結成!

## 役員名簿

職名	氏名	住所	電話番号	備考
会長	久住 熊三郎	中 沢	3 0 1 5	
副会長	池田 一雄	北 野	2 3 9 5	
運営委員	田村 一彦	下富岡	3 2 6 4	
"	丸山 茂	北 野	2 3 8 8	健全育成部長
"	山田 信一	下小島谷	2 3 1 6	
"	池浦 隆	両 高	2 3 9 4	健全育成副部長
"	柄沢 茂雄	上 桐	2 6 2 2	総務部長
"	藤田 勇治郎	阿弥陀瀬	3 0 4 6	環境部長
"	宮田 孝輔	東保内	2 6 8 1	総務副部長
"	山口 和浩	両 高	3 4 7 2	
"	久住 栄子	下小島谷	3 4 6 0	
"	塚田 善平	駅 前	2 1 1 8	
"	関 静香	下富岡	3 3 1 3	
"	松 永利治	下小島谷	2 2 2 4	
"	藤田 正義	上小島谷	2 6 7 2	
"	倉部 昭一	荒 巻	2 2 6 3	
"	内藤 益郎	島田小	2 8 0 2	
"	本間 千枝子	道城下	2 3 1 0	環境副部長
監 事	木村 元周	中 央	2 0 1 9	
"	高 桑 誠賢	下富岡	3 4 0 3	
事務局長	八子 房雄	阿弥陀瀬	2 3 8 5	
事務局員	小 黒 宏	上 桐	2 4 5 5	



▲齊藤先生の講演

▲久住会長

十二月六日総合福祉センターにおいて結成総会が開催されました。当日は、百二十名余りの方が出席され、規約の審議、役員を選出が行なわれ、その後新潟大学齊藤勉助教授から「青少年健全育成と地域活動」の講演をいただきました。その中で「地域社会(コミュニティ)を海に例えるなら、海面に学校と家庭が船のように漂っていて、地域社会が荒れてくると学校も家庭も沈没しそうになる」と話されました。

家庭の問題も地域活動の中に含めて考えねばなりません。地域の中に家庭があり、さらに親子、夫婦、兄弟等があります。家庭内のことがうまくいってこそより良い地域が生まれます。

家庭は、人間の基礎をはぐくんでいく重要な場です。

青少年育成村民会議は村民の方から理解をいただいて、村の雰囲気を高めていくことが当面の活動になっていきます。十二月十一日夜に役員会が開かれ、役員構成、事業計画の細部について次のおり協議されました。

今年度事業の主なものは、地域懇談会を開催し村民会議の趣旨を浸透させて行くことと、明るい家庭作文集の発行です。

村民の皆さんの御協力をお願いいたします。

## 新公民館長に……………

### 田村一彦氏!

和島村公民館長に田村一彦氏が、12月16日付で任命されました。

#### \* 田村氏略歴 \*

住 所/下富岡5 4 3 番地  
生年月日/大正12月 4 月18日

職 歴  
●昭和30年12月/寺泊町役場勤務  
●昭和56年 3 月/退職

## 公民館長 小黒和一郎氏退任

和島村公民館長として、献身的に本村社会教育の振興に御尽力を賜りました小黒和一郎氏が、12月15日退任されました。

## 神子義寛氏急逝される!!

神子義寛(駅前)村議会議員は、十二月十一日急逝されました。六十三歳でした。



ここに心よりご冥福をお祈りいたします。

神子氏は、昭和四十六年七月当選以来通算十年にわたり和島村発展に尽くされてきました。総務常任委員、ガス事業特別委員会委員長、与板郷消防、齋場事務組合議会議員、そして今年五月より和島村商工会長に就任され活躍が期待されておりました。

## 訪中国に参加して(一)

上小島谷 藤田正義



今回、十月十七日から二十四日まで八日間の第三回新潟県農業者友好訪中国(団長・山田稔 県農林水産部長)に団員として参加の機会をいただき、村当局をはじめ関係各位の皆様方に厚く御礼申し上げます。当日まで一回の事前研修と二回の班別研修が行われ中国に対しての認識、言葉、日常生活の指導がありました。中国は全くの無知な私でしたので即興の中国勉強も習得出来ぬまま十六日の結団式を迎えました。君知事の訓示と激励の言葉で緊張の中にも一度は行って見たいと思っていた中国大陸

陸へ心は飛んでおりました。十七日九時新潟発。福岡空港で乗り替え、福岡から一時間四十分で上海空港に着きました。あまりの早さ中国とはこんなにも近い国かと思はれました。まず町の中の色彩のない事、日本の様な派手な色は少ない事、我々の個々の服装が不自然に見えました。そして人の多い事。自転車の多い事。それから八日間を通して不思議に思えたのは、子供が町へ出て遊んでいる姿の少ない事でした。又中国人達は私達のをばまで来て、持物や服装を見つめられたのは閉口しました。それ程私達の姿に関心がある様でした。中国人の人は人民服で色は紺が多かった様に思われましたが、若い女性になると人民服の下に、原色の派手な服を着ていました。

私達は杭州・南京・上海の順に各人民公社を訪問する計画でした。十九日西湖人民公社の双峰生産大隊。二十一日、南京十月人民公社。二十三日上海七一人民公社。どの公社も開放設立と同時に基盤整理をはじめ今では一〇〇%近く整備されているとの事でした。灌漑、排水の整備はすべて人力で完成され又畑地のいたる所でスプリンクラーが設置されておりました。中国も今年は天候不順で秋の取り入れが遅れているとの事で、まだ稲が青々と残っていたのが印象的でした。それでも稲刈の作業は大勢で刈り取り、自然乾燥したものをテンピン棒でこれも大勢の人が作業場へ運んでいるのが見えました。足踏脱穀機を使い選別は風選という、かつては日本農業の姿を思い出しました。その作業も二十人から三十人での共同作業でした。又稲刈の終わった田は後作の為に、多くの人が約二m間隔で排水溝を掘っている姿が見受けられ、黙々と掘り続ける姿を見てその忍耐の強さに学ぶものがありました。

## 健康よもやま(64)

### 赤痢菌が狙っている!

冬でも赤痢は流行します。赤痢は食物・手・水を通して口から伝染します。(経口伝染) 感染の機会はどこにでもあります。患者や保菌者(症状軽く治療しなかったり、治療が不完全であった為に菌を排泄している人)の便中の菌が服や、ドアの取手につき、それにさわって、又それらの人の作った食品を食べてしまいうちに感染してしまふこともあります。

#### 予 防

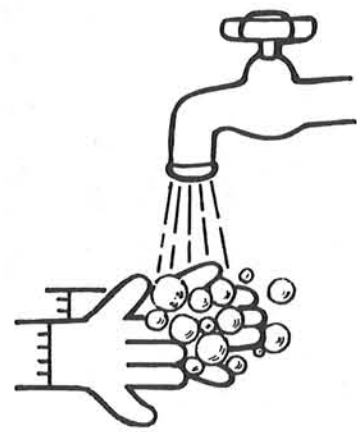
菌を口へ入れないこと、それは手洗いしかありません。便所のおと、食事を作る前、食べる前家族みんなて手洗いの習慣をつけましょう。

➤流水で洗う方法  
石けんをよく泡だて手指をまんべんなく洗い、流れる水で十分に洗い流します。

➤消毒薬を使う場合  
1%の逆性石けん(牛乳びん五本の水1,000ccについでくるコップに一杯10cc)に30秒手をひたす。

#### 症 状

感染してから二、四日してから倦怠感、頭痛、発熱、はき気、嘔吐があらわれ、腹痛、血液の混じった下痢(一日四、五回、多いと、二十回位になる)しづり腹(便秘はあっても少量しか出ず、すぐ又便所へ行きたくなる)の特征的な症状が出てきます。しかし最近では頭痛、軽い下痢などの軽症の赤痢が多い



# ☆ ワシマスポット ☆

## 祝 首都圏ふるさとわしま会

### 結 成 総 会

去る十一月二十九日、東京芝公園の留園で「首都圏ふるさとわしま会」の結成総会が行なわれました。当日は、第一回総会にもかかわらず当初の予想を上回り一三〇名の方々が出席されました。

また来賓には、県人会の事務局長さんや板町・出雲崎町の会長さんもお出席され祝辞を述べられました。このテーブルも楽しい風景が見られ話に花が咲いていました。閉会後は、商工会、両農協で用意していただいた故郷のお酒とコシヒカリのお米をお土産として、一人一人に配られました。突然の故郷のかおりに喜んで帰られました。



### 第一回総会をかえりみて

会長 早川喜一（島崎出身）

新年明けましておめでとうございませう。今春五月中頃村当局よりふるさとゆかりの者のつどいの会の趣旨を承り、まことに同感でしたが、さてどうして会を結成してよいか、我々数人の発起人では全く五里霧中の状態でしたが、幸い村のあた

たかい御指導御支援をいただき、又発起人の方々の尊い努力、会員の皆様方のよき御理解を賜り十一月二十九日芝公園の留園で、設立総会を開催することができました。出席いただきました村長さん始め村の代表者の方々には、ふるさとへの芳しい御土産まで下され、外來賓の方々、会員の皆様等、総勢一三〇名を超える参会で予想を上回る盛会でした。出席者の皆様には唯々感謝の外ありません。宴会場のあちこちであがる歓声、まあ珍しい何年ぶりの再会かと手をとりあって喜ぶ人達等まことに今世の樂園かと思わせます。ふるさとを離れいろいろ苦勞のこともあったでしょうが、みんなで明日に向かって頑張りたいたいと思います。今後はお互いに連絡を密にし、農村と都会の交流を語り共に住みよい社会を願っています。交通機関の発達でだんだん近くなる故郷がこんな立派な所かと子、孫にも語らえるようになっていただきたいと願っています。そして私共の力で少しでもふるさとと、皆様方の御好意に比べねばと思っております。向寒の折皆様様の御自愛をお祈りいたします。



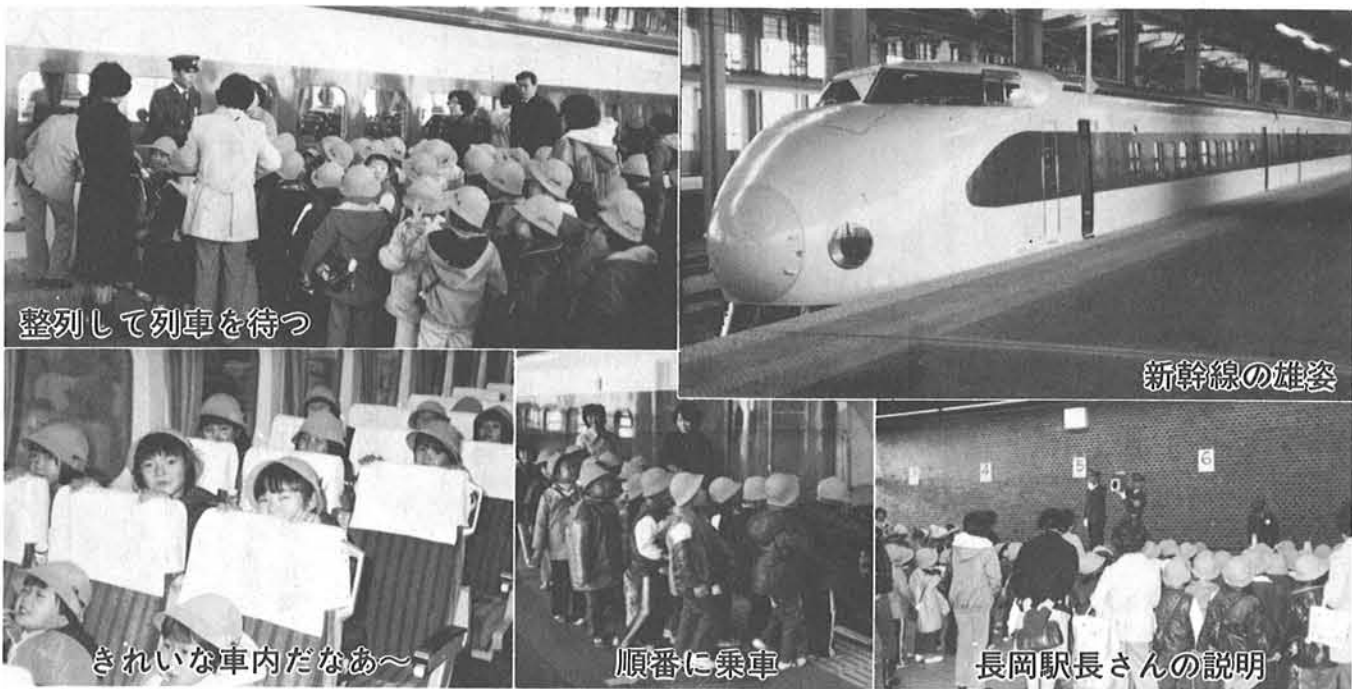
▲なつかしい対面 ▲余興もとびでる ▲早川会長

☆ ☆ ☆

## 剣道教室稽古納め（12月20日） 恒例「もちつき」大会



## 園児上越新幹線に試乗！



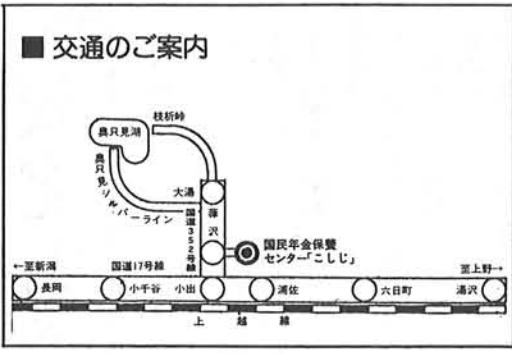
整列して列車を待つ

新幹線の雄姿

きれいな車内だなあ～

順番に乗車

長岡駅長さんの説明



◎60歳になる人  
大正11・1・2より大正11・2・1生まれ

◎65歳になる人  
大正6・1・2より大正6・2・1生まれ

老齢年金を請求しましょう。

### 国民年金保養センター

みなさんは「国民年金保養センター」という宿泊施設をご存知ですか。

この国民年金保養センターとは、国民年金の加入者や年金を受けている人、またその家族のみなさんの保養やレクリエーションなどに役立てていただくためにつくられた公営の施設です。

現在、保養センターは山形県の「もがみ」、福島県の「阿多羅」、群馬県の「草津」、富山県の「ひみ」、石川県の「のと」などの近県をはじめ、全国各地に三十カ所あります。

いずれも自然公園や温泉地などの景勝地に建てられており、安い料金で安心して利用できるようになっています。

新潟県では、いで湯の里として知られている北魚沼郡湯之谷村の通称大湯温泉の近くに「国民年金保養センターこしじ」があります。

この「こしじ」はやすらぎをテーマとしていますので、グループ旅行や家族旅行などには格好なやすらぎの場と言えましょう。

どうぞご利用下さい。

＜申込み先＞  
北魚沼郡湯之谷村大字津沢  
国民年金保養センター「こしじ」  
〒946 電話小出局(02579) 二一六一―二一六一

＜科用料金＞  
★国民年金加入者と受給者・その家族………四、五〇〇円  
★一般………四、九四〇円  
※いずれも税等込み

1月中旬に  
60歳になる人  
大正11・1・2より大正11・2・1生まれ  
かけ金をかけ終わりました。

◎65歳になる人  
大正6・1・2より大正6・2・1生まれ  
老齢年金を請求しましょう。

### 新春映写会・娯楽大会開催

村民の皆さんから正月の一日を楽しく過ごしていただくこと、次のとおり「映写会」と「娯楽大会」を計画いたしました。家族、友達お誘いあわせの上、御参加、御観覧下さいませよう御案内いたします。

◎映写会  
日時／一月十日(日)  
午前九時から十二時  
会場／和島村総合福祉センター



◎娯楽大会  
日時／一月十日(日) 午前九時より  
会場／和島村総合福祉センター  
種目／一般の部(高校生以上) マージャンは高校生を除く。  
マージャン、囲碁、将棋、短歌会  
少年の部(小学三年以上) 将棋、オセロ

参加申込／一月七日(木)まで  
公民館へ申し込み下さい。  
短歌会については歌二首を提出して下さい。昼食は参加者で用意して下さい。

### くらしの省エネ



反射型ストロープは、反射板をよくみかくと熱効率が高くなり、芯がそろっているか、空気孔にホコリがつかっていないかも常に点検しましょう。

ストロープはきれいに手入れを!!

### 新潟県最低賃金

一般労働者 1日2,896円  
時間給労働者 1時間 362円  
効力発生日…56年10月12日  
新潟労働基準局  
労働基準監督署  
新潟県労働基準協会連合会

### ～会員募集中!～

(和島マウンティングクラブ)  
☆☆☆☆☆☆☆☆  
和島マウンティングクラブ「ささゆり会」は、安全な山行をモットーに楽しい仲間と美しい自然を求めて山行活動しているクラブです。尚ボランティア活動等も行っており、今年で3年目を迎え広く会員を募っております。尚、連絡先はTEL 2787 小黑勇まで

### 1月の心配ごと相談

日時……16日、25日  
午前9時から午後3時まで  
(16日は正午まで)  
場所……福祉センター相談室  
内容……生活相談・医療相談・家事相談・児童相談・年金・身障相談・職業相談・その他なんでも

室内暖房18℃を守りましょう

### 高額療養費受領委任状について

国民健康保険の被保険者が、重病、難病、入院などで高額医療を受け、自己負担の三割相当分が一カ月三万九千円を超えた場合、その超えた分について、これまで二カ月あとで、村が本人に払い戻しする方法をとってききました。

しかし、最近疾病等の複雑化により、医療費が年々高額になり、多いときは、五十万～百万円も立替えしなければならず、経済的に大変苦労される被保険者が出てまいりました。

そこで、村では一月診療分から医療機関の協力を得て、支払いが困難な方に対し、自己負担金が三万九千円を超えた場合、超過分について、その受領を医療機関に委託して、村が直接医療機関に支払う制度を実施することにしました。この制度により、これまでのように超過分を立替える必要がなくなり、被保険者は医療機関の窓口で三万九千円を支払うだけで済みます。

ただし、この制度の適用を受けられる方は、超過分の立替え払いが真に困難な方に限られます。詳しくは、医療機関の窓口または役場住民課国保係にご相談下さい。

### 「あなたも検察審査員に選ばれます」

成人の日を迎えられた皆さん、成人の日を迎えられた皆さんおめでとうございます。

成人の日を迎えられると選挙権を獲得されると共に、検察審査員に選ばれます。

検察審査会制度とは、「窃盗・詐欺・暴力・交通事故・その他の犯罪で被害を受けた人で告訴しても検察官が、その事件を裁判にかけたくない(不起訴処分)のために、犯人が処罰されず納得できない。」こんな不満のある人のために設けられている制度です。

検察官がした不起訴処分が正しく行われているかどうかを審査するのが主な仕事です。

あなたが検察審査員に選ばれた時は、検察審査会の役割を理解され、進んでこの役割を果たされるようお願いいたします。

◎検察審査会は、全国の地方裁判所と主な地方裁判所の支部の所在地(二〇七カ所)に置かれ、その地域内の市町村選挙人名簿からくじで選ばれた十一人の審査員で構成されています。

検察官がした不起訴処分に不満をお持ちの方や詳細は左記にご相談ください。

長岡市三和三丁目九番地二十八  
裁判所構内  
長岡検察審査会事務局  
TEL長岡局三五―二一四一

### 優良無事故運転者表彰

昭和57年の優良無事故運転者の表彰が実施されます。該当される方は、次により上申されますようお願い致します。

一、連名表彰(15・25・30年)  
普通免許以上の所有者で運転歴15年以上。県警本部長と県交通安全協会長の連名表彰。

二、単名表彰(7・15・25・30年)  
二輪、小型特殊免許以上の所有者で、運転歴7年以上。県交通安全協会会長名で表彰。

三、受賞資格  
○昭和56年12月31日現在運転歴が

当該表彰年限に達し、当該期間中無事故で、かつ交通事故又は、交通違反により行政処分を受けていないこと。  
○昭和56年12月31日現在、反則行為による累積点数が3点以下であること。  
○原則として、年一回以上運転者講習会に出席していること。

四、上申期限  
昭和56年1月14日  
免許証、安全協会会員証、認印をご持参のうえ役場企画課までおいで下さい。

### 所入所申し込み受付

昭和五十七年度和島村立保育所の入所申し込み受付いたしますので、希望される方は、次により申し込みして下さい。

一、保育対象児  
昭和五十一年四月二日から昭和五十三年四月一日までに出生した者。  
(三歳児で入所希望の方は、各保育所主任保母と相談して下さい。)

二、申込期間  
昭和五十七年一月十八日から一月三十日まで。

三、申込書提出場所  
関係地域の保育所  
(申込者は各保育所に備え付けてありますから、印鑑持参のうえ所定事項を記入し提出して下さい。)

不明な点は、役場福祉係、又は各保育所に照会して下さい。

### 指定水道工事店

(与板町外二カ町村 水道企業団)

店名	電話番号
長谷川製作所	28808
早勝工業所	31006
夏戸屋	25002
早川製作所	20801
北野屋農機店	21009
和田セトモノ店	20108
星電気工事店	20051
久住電気商会	20052
河上電光	24997
共栄設備	22999
桐島農業協同組合	20114

気をつけよう おだな医療費 みんなの負担

# 安定した待遇と楽しい生活

## 自衛官募集

○受付期間  
常時受付しています。

ただし、今春高校卒業予定者は  
文部・労働両省から示された期  
日以降選考を開始。

○応募資格  
日本国籍を有し、採用予定月の  
一日現在十八歳以上二十五歳未  
満の者。

○試験期日及び試験場  
受付時お知らせします。

○試験科目  
◇筆記試験(国語・数学・社会  
及び作文)

◇口述試験  
◇身体検査  
◇適性検査  
◇合格発表  
合格者には、  
試験後おお  
むね一カ月  
後に採用通  
知書で通知  
すると共に、  
入隊案内を  
お送りしま  
す。

○志願手続  
役場または、  
自衛隊地方  
連絡部柏崎

募集事務所  
○身分  
特別職国家公務員です。

○給与  
初任給月額九一、六〇〇円  
○各種の手当  
賞与は、年間三回(三月〇・五  
カ月分、六月一・九カ月分、  
十二月二・五カ月分)合計四・  
九カ月分支給されるほか、扶養  
手当、寒冷地手当、艦船乗組手  
当、航空手当等が勤務内容によ  
って支給されます。退職金制度  
もあります。

○衣・食・住  
隊員は、全員管内で居住し、食  
事・宿泊料は無料、制服・作業  
服・ワイシャツ・靴・その他の  
被服・寝具類も無料で支給又は  
貸与されます。

○休暇・外出  
有給休暇は年二十四日のほか、  
年末年始特別休暇その他があり、  
外出は平日の課業時間終了後、  
土曜日は午後、日曜日、祝日は  
朝から許可されます。



### 10,000㎡以上の土地取引には、国土利 用計画法による届出が必要です。



国土利用計画法は、昭和47、48年頃に問題となっ  
た土地の買占めや地価の暴騰による国土利用の混乱  
を防ぐために制定された法律で、10,000㎡(都市計  
画区域以外の区域)以上の土地の取引をしようとする  
ときは、あらかじめ(契約の6週間前までに)知  
事に届け出なければならないことになっています。

届出を受けた知事は、取引価格と利用目的につい  
て審査をし、不適正と認めるときは、取引の中止又は  
変更を勧告することがあります。それ以外の場合  
には、届出日から6週間以内に勧告をしない旨文書  
で通知します。この通知を受け取れば契約ができる  
ことになります。

また、届出をしないで土地取引をしたり、偽りの  
届出をすると、6ヵ月以下の懲役または30万円以下  
の罰金に処せられることがあります。

なお、詳しいことは、役場企画課へお問い合わせ  
ください。

## 読者リレー

# おらが地域

島崎(六夜祭り)  
木村元周



島崎と言えば良寛様終焉の地  
として有名であります。六夜  
祭りもまた周知の通りである。  
私は、去年NHKで六夜祭り  
について紹介する機会を与えら  
れたので、故桑原仁右エ門氏の  
書かれた六夜祭りについて紹介  
することにいたしました。

その中に大変面白い六夜祭り  
の経緯が書かれていました。そ  
れは、当地の田圃が上領(幕府  
直轄地)と下領(一般大名領地  
主に桑名藩)に分かれ島崎川を  
境にして上(神社の方)が上領、  
橋から北野側が下領で大変仲が  
悪くケンカが絶えなかった。こ  
れも当然で上領は水利、道路等  
下領より有利で、水利は上領の  
余り水を下領が貰うという形に  
なっていた。これでは仲が悪く  
なるのはあたり前。



▲弓踊り

で六夜祭りが始つたとのことです。  
現在六夜祭りは、八月十六日  
に催され弓踊り等の行列をお盆  
の帰省客等が沢山見物され、に  
ぎわっております。

しかし、この上領・下領の耕  
地の分配について興味を引いた  
ことがあります。それは、被統  
治者である民の利害を対立させ  
て、その力を備蓄させずに制御  
するという当時の徳川幕府の功  
妙な政策がうかがえます……。

## 共同募金

—797,498円—  
ありがとうございました。

十月一日から実施致しました、  
赤い羽根共同募金につきましては、  
区長さん始め事業所、学校、村民  
の皆さんの御協力により別表の実  
績をあげることができました。厚  
く御礼申し上げます。

募金は、新潟県共同募金会へ納  
金し、五十七年度にこの募金の配  
分金が和島村社会福祉協議会に、  
約六十一万円が交付され、本村社  
会福祉の財源として活用されます。

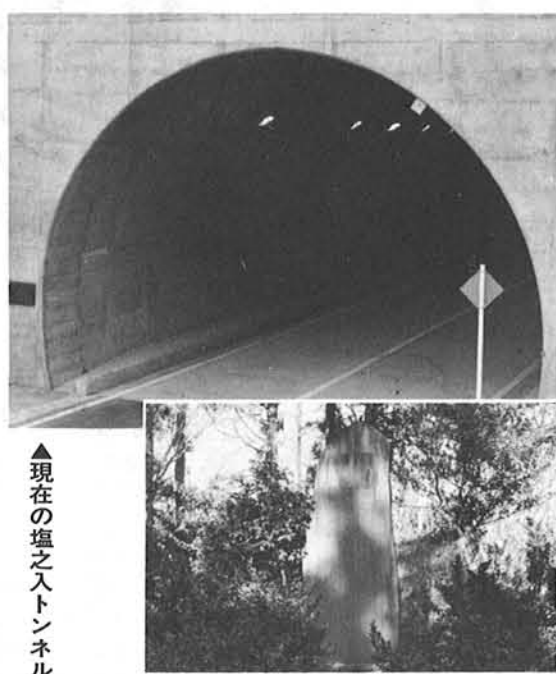
- 戸別募金……五七三、八五〇円
- 事業所募金……一五五、〇〇〇円
- 学校募金……二七、七六七円
- その他……四〇、八八一円

### 部落別募金額

部落名	項目	募金額	部落名	項目	募金額
上小島谷		15,300円	上 桐		42,300円
中小島谷		19,350円	三瀬ヶ谷		7,650円
下小島谷		22,050円	北 野		23,000円
駅 前		49,500円	根小屋		9,000円
下 富 岡		25,200円	荒 卷		24,750円
若 野 浦		8,100円	新 田		11,250円
阿弥陀瀬		13,950円	中 央		18,900円
高 畑		9,900円	下町上		23,400円
日 野 浦		22,500円	下町下		29,250円
中 沢		26,100円	川 端		16,650円
梅 田		9,000円	道 城 下		15,750円
東 保 内		29,250円	法 善 町		9,900円
村 田		29,250円	寺 町		11,250円
城 之 丘		18,000円	小 谷		3,200円
両 高		23,400円	小 計		246,250円
坂 谷		6,750円	合 計		573,850円
小 計		327,600円			

## 和島村を訪ねて

### 塩入峠の今昔(一)



▲現在の塩入トンネル

▲歌 碑

和島村荒巻部落より与板町に  
通ずる塩入峠は、甚だ険阻な山  
路であった。

晩年の良寛が島崎にこられ、  
弟の由之が与板の松下庵に住ま  
れたことから二人の往来が増し  
てきて塩入の急坂が交情を阻み  
し事が多かったとみえ、数多く  
の歌が二人共残っている。たま  
たま文政の末頃、与板領主の命  
に依つて改修されたと伝えられ  
ているが、その時の喜びを詠ま  
れた歌が隧道東口に与板歌碑保  
存会の手で建てられている。

塩入の坂は  
名のみになりけり  
ゆく人  
しぬべよろず世までも  
其の当時の道は、図にある如  
く俗にコモツツ越えて、距離は  
短いが非常に急坂で困難な坂道  
であった。

先年与板町の有志の人達と共  
同で調査をし、道筋を確認し、  
地籍町村毎で保存しようとして話合  
をして、和島村良寛会では、去  
秋、破損箇所修理や階段作り  
等を行なった。

久住熊三郎氏より

# 家庭の日の作文

和島村青少年育成村民会議  
和島村教育委員会



## おとうさんといっしょに...

島田小学校一年 くすみみちたか

ぼくのいえは、おさけをつくる会社をやっています。おじいさんやおとうさん、おかあさんもいっしょにやっています。だから、ごはんをみんなでいっしょにたべるのは、あさもよるもたまにしかありません。ぼくとおにいちゃん、いつも二人でいっしょにたべます。つきにおじいさんたちがいっしょにやらかえってきてたべます。おとうさんは、そとへでかけるしごとがおおいです。そして、おさかえってくるので一ばんさいごです。だからおとうさんのしごとがたまにはやくおわった日には、ぼくとおにいちゃんであそんでもらいます。

このあいだは、おうちのなかでやきゅうをやりました。ゆかにチヨークでベースをかきました。いえの中なのでもすごいおとや、こえがします。あまりにぎやかなので、おかあさんが「やかましい」とか、「うるさい」といってうるろしてしまいました。でも、おとうさんは、「かまわないでやれ。やれ」といってつづけてました。ボールがしゅうじにあたってあながあきました。ガラス



## 親子きょうそう

島田小学校二年 山口一典

ぼくの家では、十月十日の休みの日から親子きょうそうをはじめました。親子きょうそうというのは、ぼくと妹とお母さんの三人でうんどうのきょうそうをするのです。まず、はじめはマラソンからするの六時半ごろです。それは、お母さんが会社からかえってからのので、いつもおそくなるのです。走るコースは、ぼくの家からで、センターをまわって、村道をおとってかえってくることにきめました。だいたい十五分ぐらいかかりました。走りはじめは少しさむいですが、走った後は、あせびっしりです。星もきれいです。たまにお父さんが早くかえってくるので、いっしょに走ります。でも、お父さんはすぐ止めてしまおうのでつまらないです。ほんとうは

十二月になって、さむくなったのでいまは車で、なわとびをしています。日曜日の夜、家ぞくぜんぶで、なわとびをしました。お母さんはとてもうまいですが、ぼくとお父さんは、二じゅうまわしができません。お母さんが、「どっちが早くできるようになるか、きょうそうしたら」といいました。ぼくは、まけたくないので、ひっしにれんしゅうしています。妹はまだ五さいなのに、よくがんばっています。ぼくも早くお母さんのように、すいすいとべるようになりますたいとおもいます。お母さんは、うんどうがおわる



## ぼくのたん生日

島田小学校三年 小林郁彦

ぼくの家ぞくは五人です。お父さん、お母さん、おにいちゃん、おねえちゃん、それにぼくの五人です。ぼくのたん生日は、十一月十日です。ぼくは、その日にみんなから、とってもうれしいプレゼントをもらいました。おねえちゃんとお母さんは、ぼくにケーキを作ってくれました。おねえちゃんにとっては、はじめのちようせんです。生たまたまでお母さんが生クリームを作った、おねえちゃんがお母さんの、ほかにケーキを作ってくれました。おねえちゃんとお母さんは、ほかにケーキを作ってくれました。おねえちゃんとお母さんは、ほかにケーキを作ってくれました。

りのケーキをテーブルのまん中において、お父さんからのプレゼントのチョコプレートもいっしょにならべておきました。お父さんがジュースをのみながら、「郁彦は今日で何歳になったのだ」と聞きました。ぼくは、「九歳」と答えました。お父さんは、「けん道は、どんなにくるしくても自分でできたことだかいごまでつづけないよ」といいました。ぼくは、この四月からけん道をならいはじめたのです。今までは休みのしなをふつていて、うでがいたくしてしかたありませんが、体がポカれます。例えば、カルピス、牛乳、かんてん、クリームシチュー、ヨーグルトなどです。カルピスなどは一年中冷ぞう庫に入っています。日曜日は、よく買物に出かけます。おやつなどをたくさん買ってきてみんなで食べますが、それがまた楽しいです。「みんな元気ではたらいっているのはうれしいことだね」とおじいさんはいつも言っています。おじいさん、おばあさんは二人とも元気でいます。いつまでも元気でいてほしいと思います。お正月になると、青森にいるお兄さんがかえってきます。家中みんなで帰ってくるのを楽しみにまっています。ぼくは、こんな家庭が大すきだからいつまでもたいせ

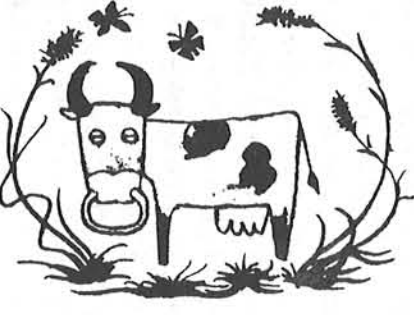
ぼくの家では、農業をやっています。そのほかに農もやっています。ですから家の人は、日曜日も休むことがなく、一年中休みはありません。お父さん、お母さんが中心になって、毎日朝ばん牛のちをします。農作業がなくても、この仕事があるので、家族みんなで泊りがけの旅行はできません。それがぼくにとっては残念です。でも反対に家があることになることはありません。そしてぼくにつがいがいいことがあります。

それは、ソロバンのじゆくの帰りはいつでもむかえにきてくれるからです。じゆくから家までとても遠いので、むかえにきてもらえたいへんたすかるのです。また、学校から帰ればおばあさんがおやつを用意してくれます。ぎゅうしゃにいけば、たいていお母さんがいて、学校のこと、友だちのこと、おねがいたいことやこまったことなどいろいろな話を話します。夕食の時はいつでも楽しいです。どうしてかという、家族そろって

て食事ができるからです。とくに日曜日の夕食は大変楽しいです。ぼくとお兄ちゃんと二人でお母さんのお手伝いをして夕食のじゆんびをします。この時、話はあまりませんが、なにか心が通じ合うような気がします。この間の日曜日には、マーボードウフを作りました。とてもおいしくできました。牛をかってあるので、牛乳がたきさん飲めます。お母さんが牛乳料理のこうしゅうにたびたび出るので、いろいろなものを作ってく

## ぼくの家

島田小学校四年 川瀬雅雄







# 家庭の日の新聞配達

島田小学校五年 久住 威寛

ぼくは今、若野浦部落の新聞配達をしています。全部で十五部、部数は少ないのですが家が離れているので思ったより時間がかかります。

どうして、ぼくが新聞配達を始めたかという、前に配っていた人がやめたこと、だれかがやらなければならぬのなら、ぼくたちの家族で引き受けようということになったからです。ぼくは、日曜日にあてられています。でも、一週間に一回か二回、普通の日もやっています。

配達を始めたのは、夏休みが終わった最初の日、九月一日からでした。自転車のうしろにいたまな

いようにくくりつけ、一けん一けん廻るのですが、最初の日は、お父さんについて行ってもらいました。一回廻れば、ぼくの部落の中ですからすぐ覚えられます。簡単な仕事だと思って安心してしま

た。ところが、新聞の種類がちがっていたり、広告やちらしが入っていたり早く廻る道順を考えたり、なかなか大変なことがわかってきました。特に、新聞の種類に注意すること、配らなくていいところへまちがって配らないように注

意しました。初めのころは、メモを見ながら確かめ確かめ配って廻りました。自転車で配達すれば早く終わるし、楽にできていいと思っていましたが、お父さんが「自転車より走って配った方が早いぞ」と言ったので、配り始めてから二週間後

はお父さんの言ったこともありましたが、三区の体育大会にはくは持久走に出場することになってい

たこともありました。新聞配りも走ってやれば走る練習にもなり仕事をしながら練習ができます。それで実行に移したのです。家庭の日も含めて日曜日や祝日の日に、ぼくの家でよくやること

があります。それはマラソンです。コースは、新聞配りでいつも走るコースです。お父さんと、弟の直也の三人です。直也はコースの半分を走ります。ぼくは、新聞配達

のあとなのでちよつと疲れているけどお父さんが走るのでもよく一生けんめい走ります。ぼくがおくるとお父さんは止まって待っていてくれます。いつもはこわいお父さんだけやさしい面もあります。お父さんは、



# 家庭の日を思う家族の提案

島田小学校六年 大矢 真由美

この間、家族全員に「家庭の日」ということを提案したとします。父がした事だから父は、必ずバドミントンをするだろう。私もおもしろそうなのでバドミントンをすると思う。でも母は、

「バドミントンだったらかんべんしてくれ。」  
「言うだろう。おばあさんは、へただけど、やってもいい。」  
と言うか、  
「バドミントンは、もうできない。」  
と言うだろう。悪口を言うわけ

ではないがこんな事では、本当の「家庭の日」とは言えないと思う。一人一人に聞いたのだが、おばあさんが一人で何か仕事をしている時さりげなく、

と答えた。最後に残った父には、おばあさんや母とはちがいが、あらかじめ母と相談して三人になった時に私が父にさりげなく聞いた。「家庭の日は、みんなが家にいてみんないっしょに出かけたり食事したりするんだ。つまりみんなが家にいてみんなで何かする日だ」と答えた。

私は、おばあさんと母の提案をくわしくまとめてくれたのが父の提案だと思う。私の「家庭の日」についての提案は「家族全員で何かをする。」つまりおばあさんと似たような提案だ。

こんなふうに家族全員に「家庭の日」についての提案を聞くのも、おもしろい一つの「家庭の日」になるのではないかと思う。

次にせっかく「家庭の日」についての提案を聞いたのだから「家庭の日」に対して、私の家の「家庭の日」と比べてみたいと思う。私の家では、「家庭の日」だからと言って特別な事はしない。毎日が、ちよつとした「家庭の日」

になっているのではないかと思う。なぜならば、夕食は父や母が出張や旅行などの日のほかは、みんないっしょに夕食をしている。夜はみんながいっしょに茶の間に集まり、お茶を飲んだりおかしを食べたりテレビを見たりしている。

日曜日は時々出かけたりしている。「家庭の日」としてやるといえる

「家庭の日」としてやるといえる



# たのしかったおもしろいSANSUUS

桐島小学校一年 たらもとかおり

日曜日、おかあさんとわたしとたか子と三人でごはんをつくりました。ほんとは、おとうさんもいっしょにおりようりをするよ

いでしたが、かぜをひいてねつがでたので、おとうさんはおりようりをしないでねていました。カレーライスとマカロニサラダをつくりました。

わたしはまえからおりようりをつくらせておもしろい。やっとなつくるので、うれしくてたまりませんでした。

まず、カレーライスをつくりました。おかあさんが、かわをむ

たじやがいの、にんじん、たまねぎをわたしたか子でできました。じゃがいもはとともきりやすかったです。にんじんはかたくてちよつときれませんでした。一ばん

いやだったのはたまねぎです。たまねぎをきったら目がいたくなつてなみだがでてきたからです。もうやめたいとおもいました。でも、

「おかあさんはいたくてもいっしょがまんしてやっっているんだから、かおりもさいごまでやりなさい。」  
といったので、目がいたいのをがまんしてやりました。

次に、マカロニサラダのきゅう

りとしーせーじをきりました。いっしょけんめいきったけど、うまきれませんでした。おかあさんが、

「どったんぎりだなあ。」  
といました。みんなでわらいました。

わたしは、カレーがにえるのがたのしみでしたがありませんでした。はやくにえなかなあ、はやくたべたいなあとおもってま

たべました。いつものカレーよりおいしいようなかんじがしました。そして、わたしとたか子においがするみたいでした。

どこへもいかなかったけど、おりようりをつくってとてものしい日曜日でした。おとうさんもいっしょにやると、もつとたのしいだろうとおもいました。  
こんどまた、おりようりをつくりたいとおもいます。





# おじいさんのびょう気

## 桐島小学校二年 しまくら大すけ

ぼくのおじいさんは今びょう気  
でねたつきりです。  
少し前はよし田びょういんに入  
いんしてました。ふだんはお父  
さんとお母さんと妹とぼくと見ま  
いに行きました。おばあさんはた  
まにいきました。ぼくたちが行く  
と、「ぼうず、元気か」と、おじ  
いさんがうれしそうにいいいます。  
ぼくは、「元気だよ」と、こたえ  
ます。

ぼくの小さいころ、おじいさん  
は、元気でうば車にぼくをのせて、  
よくさんぽにつれていってくれた  
んだそうです。しゃしんを見なが  
らお母さんが話してくれました。  
ぼくが一年生のとき、ずがをかい  
ていておそく帰ったとき、すごく  
おじいさんにしかられたことがあ  
ります。そのときは、とってもこ  
わかったです。今は、とってもや  
さしいおじいさんです。

まあ元気です。ぼくが、「ただ  
いま」というと、おばあさんが、  
「お帰り。おやつを食べなさい。」  
といひます。「ありがどう」とい  
いながら、おじいさんのへやへい  
つて、「ただいま」というと、お  
じいさんは、「お帰り、学校で何  
があった」とか、にこにこしてい  
います。「ああ、きょうのおじい  
さんは、気分がいいんだな」と、

思っ、ぼくは、「マラソン大会  
だったよ。ぼくは二十五番目だ、  
ったよ」と、学校のことを話して  
やります。それから、ぼくはしゅ  
くだいをします。妹が、「にいち  
やん、べんきょうおわたした。」  
ん、おわたしたよ」というと、「あ  
そぼう」といって、つみ木をもつ  
ておじいさんのへやへ行きます。  
ぼくは、せん車をもつて行きます。  
妹が、高い家を作ると、ぼくがバ  
ンパンといってせん車でうってた  
おしたりして、あそんでいると、  
おじいさんがたのしそうに見てい  
ます。また、かくれんぼをして、

ぼくがおじいさんのベッドのかげ  
にかくれていると、妹が、「にい  
ちゃん、どこだ」といってくると  
おじいさんが、「ここにいますよ。」  
とおしえてくれます。おばあさん  
も、目で合すをしています。そん  
なとき、妹がにくたらしくなりま  
す。長くあそんでいると、おかあ  
さんが、「おじいさんがつかれる  
ので、コタツのところへきて、テ  
レビを見なさい」といひます。ぼ  
くは、おじいさんが、「きつと元  
気になるな。早く元気になって、  
おじいさん。家ぞくそろってりよ  
こうに行きたいな」と思ひます。

# おかあさんのてつだい

## 桐島小学校三年 早川 玲子



手じゆつをしたあと、リハビリ  
で歩くれんしゆうをしました。お  
じいさんは、かがみを見ながられ  
んしゆうをしています。ぼくは、  
かがみにうつるおじいさんの歩  
すがたを見て、まねをしてみまし  
た。十メートルくらいのところを  
四回も回るので、つかれるでしよ  
う。ぼくは、おじいさんがんばつ  
て、早く右、左、右、左、もつと  
手に、足に力を入れて、一、二、  
一、二、と、心の中でおうえんし  
ました。リハビリのおじいさんと  
おかあさんは、ときどき、「かっ  
こうがよくつたね。」力強くな  
つたね。」などと話しています。「お  
じいさん、もつと手を前にやって。」  
と、リハビリのおじいさんに教えて  
もらっています。

びょういんに行つたある日、お  
じいさんは、のどがかわいたとい  
うので、ぼくは三がいのボックス  
に行つて五十円のコーヒー一つと  
百円のソーダ一つ買つてきました。  
おじいさんがコーヒーを「おいし  
い、おいしい」といって、のみま  
した。ぼくと妹は、半分にして、  
ソーダのみました。妹が、「う  
まいなあ」といってのみました。  
ぼくが、「デブになるぞ」といっ  
たら、おじいさんが大わらいしま  
した。おとうさんも、おかあさん  
もわらいました。ぼくもいっしょ  
にわらつたら、妹が、「バカ。」と  
いっておこりました。ぼくは、お  
じいさんが、「きつと元気になるな  
」と、そのとき思ひました。

わたしは、十一月の十日と十一  
日に、おかあさんのてつだいをし  
ました。いつも少しづつやってい  
るけど、その日はとくにやりまれ  
した。一つは、ちやわんをあらひ、  
二つは、ごはんをたべる場所の下  
をほうきではいたり、三つは、ふ  
ろをあらひ、四つは、こめをとき  
ました。

どうしていつもよりてつだいを  
やつたかという、おかあさんが  
いけ花の先生のところ、いけ花  
のことで何かききにいっただから  
す。それとあまりおかあさんにし

ごとをさせるとわるいからです。  
わたしがおかあさんに、  
「れいこがちやわんやふろをあら  
つてやろうか。」  
といひました。でもおかあさんは、  
「ううん、いい。おかあさんが  
やるから」といひました。それで  
もわたしは、おかあさんがそんな  
ことをいうとますますやりたくな  
るをびつくりさせようと思つたので  
す。  
自分で考えてみるとあまりいっ  
ぱいてつだいをやつたとは思ひま



# 私の家族



## 桐島小学校四年 柄沢 陽子

した。おかあさんといっしょにし  
ごとをしている時、おかあさんは  
とてもやさしかったと思ひました。  
どうしてかという、いつもうち  
じやおかあさんは、きびしくおこ  
るので。だからおかあさんは、今  
日だけはやさしいな。」と思ひまし  
た。それからわたしが、ちやわん  
をあらつている時おかあさんは、  
コーヒーを作っていました。それ  
をみつけたわたしは、  
「れいこのみない。」  
といひました。でもわたしはミロ  
でした。てつだいがおわつてミロ  
をのんだらとてもおいしかった  
です。

私の家族は、父、母、弟のゆた  
かと私の四人です。  
父は、じぞうどうに働きにいっ  
て、母は家で内しよくをしていて、  
弟のゆたかは小学校一年生です。  
父のしゆみはうえきをいじるこ  
と、母は歌を歌うことです。ゆた  
かはまんがみないなものを書くこ  
と、私は読書です。

一番おつちよこちよいなのは、  
ゆたかです。朝学校に行く時雨が  
ふつているのにズックをはいてい  
こうとしたり、時間をあわせる  
とき私に「あした何曜日。」とき  
いておいてちがう日の時間をあ  
わせたりして、本当におつちよこ  
ちよいです。

おもしろいことを言つてわらわ  
すのは、母とゆたかです。いつも  
おもしろいことばかり言つてわら  
わせてばかりいます。父は、気げ  
んがわるいとむ口になつて母や、  
ゆたかがわらわせてもわらひませ  
ん。気げんがいいときだとそれに  
つられて話をします。父は、ちよ  
つとお天気やみないだと私は思ひ  
ます。

このまえばゆたかのたん生日が  
ありました。父が、さしみとケー  
キを買つてきてくれました。ケー  
キの上に、「ゆたかおめでどう。」  
とかいてありました。父は毎年た  
ん生日になると、さしみとケーキ  
をかみならずすれないで買つてき  
てくれます。私たちのたん生日に  
なるといつも父は「おめでとう。」  
ゆたかかケーキを食べるのがまち  
きれなくて生クリームをなめます。  
これは、毎年のことです。母が見



それがおわるとらくらくして、  
おかあさんが、  
「れいこ、おふろ入ろうよ。」  
といひました。そしていっしょに  
入りました。その時おかあさんが、  
「れいこ、よくみがいたね。とつ  
てもきれいだよ。」といひました。  
わたしはわらわ、  
「エへへッ。」  
とわらいました。そして、  
「だつて、力をいれてみがいたか  
らだよ。」  
といひました。ほんとにピカピカ  
してきれいだと思ひました。

しまいは、父はあきれてだま  
ります。母もしばらくすればもう  
話はやめて自分の仕事にかかりま  
す。でも仕事をしながら、ときど  
きまたその話をちよつと言ひだし  
ます。でも父はだまっています。  
それでこのことは終りになります。

母が年賀はがきをかいてい  
るさ  
いちゆうに、ゆたかがじやまをし  
たりして母にしかられます。  
いつも母の仕事のじやまをおもし  
ろがつてやっています。私は母に  
しかられたゆたかをわらつてしま  
います。そうすると私もときどき  
母にしかられてしまひます。  
私の家族は、とつても明るく、  
楽しい家族です。

夕ごはんになると、父はすぐせ  
きにつきます。ゆたかと私は、母  
によべれないとなかなかいきませ  
ん。母によべれてもまごまごして  
いてなかなかそこを立ちません。  
そうすると母がおこつて、私たち  
の所まできてひっぱつてつれてい  
きます。ごはんを食べ始めると、  
おしゃべりも同時に始まります。  
いろいろな話ができます。でも、  
だれかが気げんがわるいと話はあ  
まりはずみません。時どきだれも  
しゃべらないでだまつて食べてい  
ることもあります。だれかが一言  
しゃべつても、だれもしやべらな  
くだまつて食べています。私は、  
なんだかしやべらないとへんなの  
で、ゆたかと二人でしゃべつてい  
ますが、父と母はだまっています。  
日曜日に、うえ木の冬がこいを

カギかけは、家族みんなの合言葉

# 私の家の家庭の日



桐島小学校五年 矢部 正子

私の楽しみは、日曜日の家族全員でやるトランプの時間です。私と妹も明日の準備を終わらせ、母も家事を早目にきりあげて、みんながあつまった時やるのです。それは、家族みんなの楽しい夜のときなのです。

でも私の家は決してひまなのでありません。どちらかというと、なかなか、みんながいつしよの時間をすごせないような家なのです。というのは、私の母は老人ホームにつとめていて、毎週日曜日に休みがもらえません。それだけでなく、残業が月に四、五回もあるのです。そのうえ、夜勤が月に四、五回もあるのです。

だから、いつしよにトランプのできる日は月にして一、二回くらいなのです。それに父も休みの日には屋根をなおしたり、冬囲いをしたりで、そがしくてなかなかいつしよになれません。

それだけに、私にとっては、まあ、おもしろい日曜日なのです。なぜ家がトランプをやるようになったかという、それには、ある日曜日の夜、私と妹がなにもすることがなくて、

「あーあ、たいくつだなあ。」  
と言うと父が、  
「じゃあトランプでもするか？」  
と言いました。  
私も妹も大さんせいで、それから、このトランプをやるようになったのです。

家のトランプゲームには、おもしろいルールがあつて、負けた人がミカンをもつてくるとか、勝った人が次のゲームの時に札をくばったりするのです。  
でも、私はもつぱらミカンをもつてくるほうです。  
さてゲーム開始です。  
まず一番のくばり手は父から。

「七ならべ」などをよくやっています。始めはいつも「51」です。  
一人一人の顔をみると、自信満々でえみさえうかべている父、負けずぎらいの母は手持ちの札が悪いといつてなげいているし、わりあい運の強い妹もなんとなく自信ありげにしています。  
私もうかつにはしていられます。

なにしろほとんどビリからかぞえて一、二番くらいなのです。始めのうちにはシオンとしてじゅ

んぐりにやっていたがその時父が、「ストップ」  
と声をかけました。  
あー私はまた負けてしまいました。母も私と同じです。  
一位はやつぱり父でした。  
いつもビリから一番のくせに人一倍負けずぎらいの母は、「くそー」  
「あーずるい」  
とか父にいやみっぽいことを言つてしまふことがあります。言われた方も大して気にしないようだし、やつぱりやっている時は楽しんで

います。  
「もう一回、もう一回だけだのむ」と母がせがむ。  
ふつうは、子供のほうが親にそういうふうなたのむのだが、家ではどうも反対になつていよう。妹は「ポーカール」をやろうと言つたのだけどついに母にくどき落とされて、それから三回ぐらいたけどやつぱり母は勝てなかつた。次に「ポーカール」をやつた。

これは一発で勝負が決まるので、少しつまらないところもあるけど、おもしろいゲームだ。これは、本当に運にたよるしかないのが私に「神様、仏様どうかいいのが出ますように。」と言つてめくつた。でもぜんぜんだめだった。めずらしく妹が勝つた。くやしいので、一回とせがんでやつたけど、けつ

きよく〇勝二敗で終つてしまつた。最後に「七ならべ」をした。私はこれだけは自信があつた。一回も休まないでらくらく勝つた。もう一回やろうとした時父が、「もう十時だからそろそろ終わりにしてねよう。」といったので、しぶしぶかたづけつてねた。来週もまたやりたいなあと思つてねた。

私はこの習慣をいつまでも続けたいと思つている。そうすればたとえふだんの日家族で集まることのできなくても日曜の夜には、一家だんらん楽しく過せるのだから。  
私そんな家庭が好きだ。いつまでも今のまま楽しい家庭であつてほしいと思つた。



# 私の家族

桐島小学校六年 阿部 陽子

私の家族は八人。クラスで一番の大家族です。おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、おばちゃん、私に、妹、弟と毎日ワイワイガヤガヤ、ゆかいにやっています。  
朝は、おばあちゃんのそうじするキョッキョッキという音、お母さんの朝ごはんを作るコトコト、ザツクザツクで始まり、おじいちゃん、お父さん、おばちゃんと起ききます。私達きょうだいは、お母さんがちよどよい時間になる时起こしにきてくれます。しかし私達は、なかなか起きずにお母さんが何回か起こしにきてやつとふとんからぬけるしまつです。弟は、小学校一年生ですが末っ子のせい

「ほら、あついかからね。」  
とふうふうふいてくれたり本当にはずかしくなるくらいやさしくしてくれました。  
病気の時だけでなく水泳大会とか陸上大会、そろばんの検定といった大事なことがある日などもそうです。  
「いよいよ明日だねえ陽子、調子はどうだい。」  
と必ず夕食の時みんなで私に気を使つてくれます。思わず私も、「よゆう、よゆう私に勝つ人なんていないよ。」  
なんて笑つてこたえます。すると、

「ようしそれくらいずぶとい神経があれば大じょうぶだ、しっかりやつてこい。」  
とお父さんも大きな声ではげましてくれました。もちろん、家中みんなで大笑いしながら本当に楽しいひとときです。  
こうしてみると、私にとって家族とは時にはしかられることもあるけど、いつもやさしい思いやりをもつた、私にとってなくてはならないものなんだと感じます。そしていつまでも、このあたたかさ

を失いたくないと思つています。  
★ ☆ ☆



# 山菜取りについて

北辰中学校一年 和田 直美

「家庭の日」という言葉をよく聞くが、我が家では第三日曜日「家庭の日」と、特別に決まっているわけではない。「家庭の日」が第三日曜日であると知っている人も五人家族のうち、私、父、母、この三人だろう。

知つているのなら、家庭の日に何かやつてもよいと思うのだが、父は仕事を頼まれたりするし、母も色々仕事ができ、なかなか時間がないのだ。  
しかし、特別に日は決まっていなくとも近くに山があるというこ

とで、毎年四月頃親せきの人も連れだつて山菜取りに行つていて、あまりよそへは連れていつてもられない私としては、その日を今か今かと待っている。  
年によつてちがうが、まだ時期が早くて小さかったり、遅くてかたかたり、他の人に取られたり、でなかなか見つかからないこともある。山の中の昼食はにぎやかで最高だ。

「すべつてころんだいや。」  
とか、  
「こんげいっぺえとつたいね。」

など話題は、山菜取りに集中する。こんな時、なんとなく「家庭日いいな」と思うものだ。  
こんな我が家の「家庭の日」とも言うべきものから、一つ、二つは学びとつたことがある。  
一つは「自然」というものだった。私達が行つた時は、もう四月も終るころで、よその人がきた後で、山菜などがあまりとれなくて残念だった。それが、それ以上に残念だったことは、「山がきたない」ということだった。

山に着くとすぐに、  
「きたないなあ」と思つた。それもそのはず、あちら、こちらには、ジュースのかが投げ捨ててあるし、ナイロン袋が土の間から顔をのぞかせたりする。  
「きつと私達の来る前に山菜取りに来た人が自分のゴミを持っていかずに、ここへ捨ててつたんだらうな」  
その後に来る人のことも考え、ゴミは持つていつてほしかつた。後から来る人はきつと、「やらなあ。だれがこんなにゴミを落していつたんだらうか」と思ふことだらう。  
もう一つは、「家族はいいなあ」と思つたことだ。  
家族で行くからこそ、山菜取りに行つても楽しく過ごせるのであ